



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岩 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8123

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,886	4.7	62		41		44	
2022年3月期第2四半期	1,801	3.1	97		95		109	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 44百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 97百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	0.79	
2022年3月期第2四半期	1.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	3,832	3,078	80.3	54.73
2022年3月期	3,821	3,090	80.9	54.94

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,078百万円 2022年3月期 3,090百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	13.5	24		32		18		0.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	59,640,348 株	2022年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,395,953 株	2022年3月期	3,395,953 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	56,244,395 株	2022年3月期2Q	56,244,395 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、消費行動の回復が見られた一方で、感染者数の再拡大やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・エネルギーの高騰、急激な円安の進行もあり、消費マインドの動向、経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社はD2C事業ならびにDXへの投資を進めるとともに継続的に固定費の通減、事業ポートフォリオの見直しを図り、成長のための基盤づくりを行っております。

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限が緩和されたことによる外出需要増加への対応が進捗したこと、ならびに気温の上昇による春夏商品が好調に推移するなど消費行動の回復が見られたこともあり、ファッション事業、マテリアル事業が好調に推移し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年に比べ増収となり、営業損失は改善いたしました。この結果、売上高18億86百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業損失は62百万円（前年同四半期は営業損失97百万円）となり、貸付による受取利息収入18百万円を計上し経常損失は41百万円（前年同四半期は経常損失95百万円）、また、助成金収入を特別利益へ、新型コロナウイルス感染症の影響により発生した固定費（休業中の人件費等）を「感染症関連損失」として「特別損失」に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期損失は44百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失109百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、ファッション事業におけるD2C事業の強化を目的とし、マテリアル事業の製品企画部門をファッション事業へ組織改編しております。これに伴い、前年同四半期比較につきましては、変更後のセグメント区分に組替えした数値で比較しております。

D2C事業におきましては、引き続きマテリアル事業との連携を図り、価値連鎖を推進してまいります。

#### (きもの事業)

きもの事業は、得意先催事販売会の開催数が増加するとともに事業部間での連携による新たな商品提案が進捗し、前年同四半期に対し増収となりましたが催事の開催に伴う催事経費の増加により営業損失の改善はわずかにとどまりました。この結果、売上高3億69百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業損失は19百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

#### (ライフスタイル事業)

東北地区におけるギフト事業は、前年に引き続き葬儀参加人数の抑制による影響ならびに商品原価高騰による収益率悪化の影響を受けましたが、受注は堅調に推移するとともに取引先数の増加もあり、前年同四半期に対し増収増益となりました。ヘルスケア事業は、前年度に寝装品の卸売事業から撤退した影響により大幅な減収となりましたが、固定費が大幅に減少したことにより増益となりました。この結果、売上高1億73百万円（前年同四半期比18%減）、営業利益は11百万円（前年同四半期比297.4%増）となりました。

#### (ファッション事業)

ファッション事業は、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、行動制限が緩和されたこともあり消費行動の回復が見られました。前年度のベビー卸売事業からの撤退による減収の影響はありましたが、ミセス卸売事業における外出需要増への対応が進捗するとともに気温の上昇により春夏品が好調に推移し、専門店卸ならびに百貨店卸も好調に推移したことから大幅な増収となりました。営業利益は、D2C事業立ち上げに伴う先行投資の影響がありましたが、事業撤退に伴う固定費の通減効果もあり、前年同四半期比では大幅な増益となりました。この結果、売上高7億39百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益は14百万円（前年同四半期比は営業損失14百万円）となりました。

#### (マテリアル事業)

マテリアル事業は、国内においては中国内需向けの受注が増加するとともにアパレル各社からの受注も堅調に推移し、増収増益となりました。海外事業においては、上海市でのロックダウンの影響もあり、受注が減少し減収減益となりました。この結果、売上高6億4百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は26百万円（前年同四半期比73.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は36億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が55百万円増加したことによるものであります。固定資産は1億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。この結果、総資産は38億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に、その他流動負債が31百万円等の減少要因はありましたが、支払手形及び買掛金が80百万円増加したことによるものであります。固定負債は25百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。この結果、負債合計は7億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は30億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が32百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金44百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は80.3%（前連結会計年度末は80.9%）となりました。

## ②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円減少し、9億27百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、1億36百万円（前年同四半期は2億12百万円の減少）となりました。これは主に、仕入債務が53百万円増加したものの、棚卸資産の増加66百万円、その他48百万円、税金等調整前四半期純損失47百万円等の減少要因によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は、0百万円（前年同四半期は9億92百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は、0百万円（前年同四半期は0百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,039,767	927,382
受取手形、売掛金及び契約資産	672,253	681,570
電子記録債権	115,055	129,437
商品及び製品	757,897	812,901
原材料及び貯蔵品	32,408	59,846
短期貸付金	1,000,000	1,000,000
その他	38,118	51,603
貸倒引当金	△16,418	△13,474
流動資産合計	3,639,081	3,649,268
固定資産		
有形固定資産	81,522	80,855
無形固定資産	399	286
投資その他の資産		
その他	127,687	130,710
貸倒引当金	△26,883	△29,111
投資その他の資産合計	100,803	101,598
固定資産合計	182,725	182,740
資産合計	3,821,807	3,832,008
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	343,236	423,980
電子記録債務	215,887	199,647
未払法人税等	13,131	2,035
その他	134,334	103,128
流動負債合計	706,590	728,791
固定負債		
その他	24,909	25,062
固定負債合計	24,909	25,062
負債合計	731,500	753,854
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,693	3,236,693
利益剰余金	106,468	61,901
自己株式	△389,581	△389,581
株主資本合計	3,053,580	3,009,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,885	5,174
為替換算調整勘定	31,841	63,965
その他の包括利益累計額合計	36,726	69,140
純資産合計	3,090,307	3,078,153
負債純資産合計	3,821,807	3,832,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,801,416	1,886,932
売上原価	1,251,087	1,319,701
売上総利益	550,328	567,231
販売費及び一般管理費	647,715	630,162
営業損失(△)	△97,386	△62,930
営業外収益		
受取利息	326	18,817
受取配当金	3,087	789
為替差益	-	4,215
還付金収入	2,165	-
その他	920	760
営業外収益合計	6,500	24,582
営業外費用		
支払利息	177	201
為替差損	1,714	-
株主優待関連費用	2,909	3,000
その他	57	215
営業外費用合計	4,858	3,416
経常損失(△)	△95,745	△41,764
特別利益		
助成金収入	6,296	6,622
特別利益合計	6,296	6,622
特別損失		
感染症関連損失	13,068	12,570
特別損失合計	13,068	12,570
税金等調整前四半期純損失(△)	△102,517	△47,712
法人税、住民税及び事業税	7,391	2,066
過年度法人税等	-	△5,212
法人税等合計	7,391	△3,145
四半期純損失(△)	△109,909	△44,567
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△109,909	△44,567

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△109,909	△44,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,032	289
為替換算調整勘定	16,710	32,124
その他の包括利益合計	12,678	32,413
四半期包括利益	△97,230	△12,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,230	△12,153



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△102,517	△47,712
減価償却費	873	916
為替差損益(△は益)	△4,560	△6,174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,110	△716
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,020	-
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△7,312	-
受取利息及び受取配当金	△3,414	△19,607
支払利息	177	201
助成金収入	△6,296	△6,622
売上債権の増減額(△は増加)	△12,804	△14,585
棚卸資産の増減額(△は増加)	△39,973	△66,832
仕入債務の増減額(△は減少)	6,244	53,308
その他	△21,922	△48,446
小計	△208,638	△156,273
利息及び配当金の受取額	3,249	19,607
利息の支払額	△177	△201
助成金の受取額	3,669	7,949
法人税等の支払額	△10,359	△7,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	△212,255	△136,868
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△489	△496
敷金の回収による収入	8,455	315
貸付けによる支出	△1,000,000	△2,500,000
貸付金の回収による収入	-	2,500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△992,034	△181
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,545	24,664
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,188,744	△112,385
現金及び現金同等物の期首残高	2,229,942	1,039,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,041,198	927,382

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	きもの事業	ライフスタイル 事業	ファッション 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	359,625	211,328	673,548	556,913	1,801,416	-	1,801,416
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	359,625	211,328	673,548	556,913	1,801,416	-	1,801,416
セグメント利益(又はセグメ ント損失(△))	△20,706	2,930	△14,270	15,444	△16,601	△80,785	△97,386

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△80,785千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	きもの事業	ライフスタイル 事業	ファッション 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	369,997	173,323	739,253	604,359	1,886,932	-	1,886,932
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	369,997	173,323	739,253	604,359	1,886,932	-	1,886,932
セグメント利益(又はセグメ ント損失(△))	△19,755	11,647	14,827	26,851	33,570	△96,501	△62,930

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△96,501千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、ファッション事業におけるD2C事業の強化を目的とした組織改編に伴い、「マテリアル事業」に区分していた製品企画部門を「ファッション事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の区分方法に変更しております。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失1億73百万円及び経常損失1億47百万円、親会社株主に帰属する当期純損失2億7百万円を計上する結果となり、当社グループの業績は改善傾向にあります。前連結会計年度まで4期連続で営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。そのため、過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において、連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。